

NINJA TOOLS [PR][公式/デル2万円台デスクPC!](#)

会社のオフィスはビジネスPC? 各種ノートPCも/intel技術搭載
www1.jp.dell.com

[SQL Server 2008](#)

ポリシーベースの管理により、管理工数削減!
www.microsoft.com

上記の広告は3ヶ月以上更新がないため表示されています。ファイルを更新する事で広告が消せます。

イントロ**Windows Vista Information****[おすぎのほ〜むぺ〜じ](#)**[Windows7との互換性](#)

Windows Server 2008R2と 組み合わせて
新しい機能

[windows7無料プレゼント](#)

格安プロバイダへの乗り換えで 最新windows7
無料プレゼント!

Ads by Google

[Windows Vista を買うならamazonで!](#)**Windows Vista を使いこなそう!****VistaとXPのマルチブート**

WindowsXPとWindows Vistaのマルチブートの導入・解除時のポイントを解説します。雑誌等に載っている情報を自分の備忘録として纏めた内容です。

※ここではOSのインストールの基本手順やパーティション分割の手順等については解説してません。

- [マルチブート環境作成・解除における予備知識](#)
- [WindowsXP → Windows Vistaの順でインストールする場合](#)
- [Windows Vista → WindowsXPの順でインストールする場合](#)
- [Windows Vistaの削除](#)
- [WindowsXPの削除](#)
- [マルチブートの問題点](#)

マルチブート環境作成・解除における予備知識**《ブートシーケンスについて》**

OS起動時は「**MBR→ブートセクタ→ブートローダ**」の順に情報入力が行われます。

1. まずBIOSプログラムによってハードディスクの先頭セクタである**マスターブートレコード(MBR)**が読み込まれる。
2. 次にアクティブな基本領域(通常C:を含む領域)の先頭セクタである**ブートセクタ**が読み込まれる。
3. ブートセクタの記録内容に応じて、対応する**ブートローダ**を読み込む。

《ブートローダについて》

ブートローダはブートシーケンスにおいて最初に読み込まれるOS固有のファイルです。

- WindowsXPのブートローダは「**NTLDR**」
- Windows Vistaのブートローダは「**Bootmgr**」
- 「Bootmgr」は「NTLDR」を起動できるが、「NTLDR」は「Bootmgr」を起動できない。
→VistaとXPのマルチブート環境ではブートローダとしてVistaのブートローダ

イントロ

[Windows Vista News](#)

[このページについて](#)

[管理人について](#)

Windows Vista Information

[ハードウェア ガイドライン](#)

[エディションの種類](#)

[エディションと機能の対応表](#)

[通常版とアップグレード版](#)

[製品版の価格](#)

[どのエディションを購入するか?](#)

[DSP版の価格](#)

[リンク集](#)

ビスタを使いこなそう!

[Windows Vista Tips](#)

[VistaとXPのマルチブート](#)

別室

[おすぎのほ〜むぺ〜じ](#) [別室](#)

[おすぎのパソコン部屋](#) [別室](#)

[ニュースアンテナ](#) [別室](#)

Ads by Google

[Windows Vista](#)

[Vista XP](#)

[Vista Bootmgr](#)

[Vistaブート](#)

である「Bootmgr」が起動されなければならない。

- ブートローダ(および関連ファイル)は、アクティブな基本領域(通常C:)に存在する。マルチブート等でD:ドライブ,E:ドライブにOSをインストールした場合でもその通り。

《ブートセクタについて》

ブートセクタには、次に読み込むブートローダの所在が記録されています。この内容はOSインストール時に"そのOSのブートローダを読み込むように"書き換えられます。

→マルチブート環境作成の為に複数のOSをインストールした場合、最後にインストールしたOSのブートローダが読み込まれるようになります。

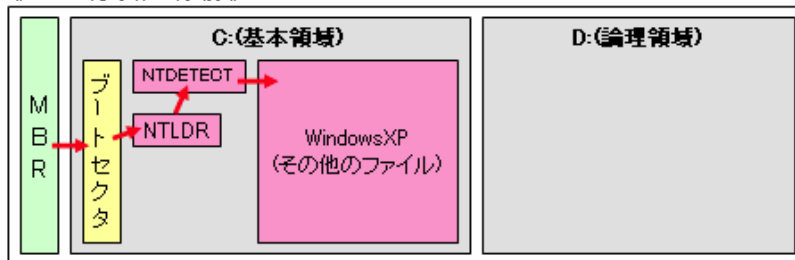
WindowsXP → Windows Vistaの順でインストールする場合

既に第1パーティションにWindowsXPがインストールされており、これから第2パーティションにWindows Vistaをインストールする場合、あまり注意すべき事項はありません。以下のいずれかの方法でWindows Vistaをインストールすれば、自然とマルチブート環境が構築できます。

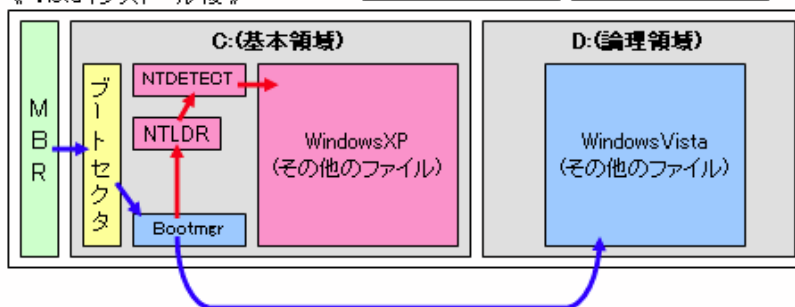
これは、後からVistaをインストールしたことにより以下の状態になってくれるからです。

- Vistaのブートローダである「Bootmgr」が起動されるようにブートセクタが書き換えられている。
- Vistaインストール時に、先に存在しているXPのブートローダ「NTLDR」を認識し、それも起動できるように「Bootmgr」が設定される。

《 Vistaインストール前 》



《 Vistaインストール後 》



《補足事項》

Vistaのインストールの仕方次第で挙動の違いが発生します。認識しておいた方がよいでしょう。

- VistaのインストールDVDより起動してVistaをインストールした場合...
実行しているOS時のドライブレターが「C:ドライブ」になるという挙動を示します。すなわち
 - XP実行時:第1パーティションがCドライブ,第2パーティションがDドライブ。
 - Vista実行時:第2パーティションがCドライブ,第1パーティションがDドライブ。
- XP上からVistaのインストールを行った場合...

実行OSに関わらず、第1パーティションがCドライブ、第2パーティションがDドライブと認識されます。

※当ページではこちらを意識した図を示しています。

windows7無料プレゼント

格安プロバイダへの乗り換えで 最新windows7 プロダクトキー 認証支援
無料プレゼント!

Windows7

プロダクトキー 認証支援
auctions.yahoo.co.jp/jp/

Ads by Google

Windows Vista → WindowsXPの順でインストールする場合

この場合、XPインストール後にVistaが起動できなくなります。(⇒無条件にXPが起動し選択する余地が無い)

これは、後からVistaをインストールしたことにより以下の状態になるからです。

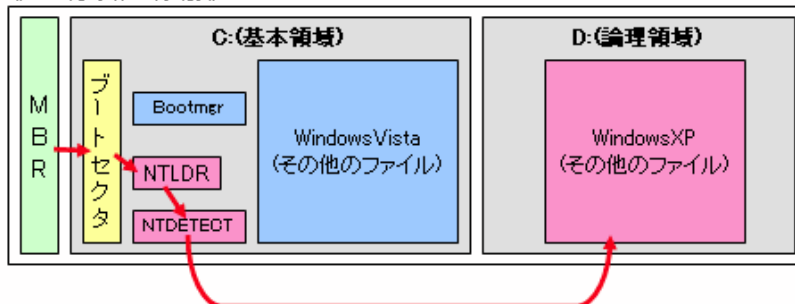
- XPのブートローダである「NTLDR」が起動されるようにブートセクタが書き換えられている。
- XPインストール時に、Vistaのブートローダ「Bootmgr」の存在が認識されない。

これまで動いていたVistaが起動できなくなりますが、Vistaのファイルは一切失われていませんので、ご心配は無用です。

《 XPインストール前 》



《 XPインストール後 》



ブートに関する情報(ブートセクタ、ブートローダ)を変更してやれば、無事マルチブートをすることができます。

変更の内容は以下の2点。

- Vistaのブートローダである「Bootmgr」が起動されるようにブートセクタを書き換える。
- 「Bootmgr」からXPのブートローダ「NTLDR」を起動できるようにBCDにエントリを追加する。

これらの変更は、コマンドプロンプトからのコマンド入力で行います。

《ブート情報の変更手順》

1. XPを起動
2. アクセサリのコマンドプロンプトを起動

3. DVDドライブ(E:とします)にVISTA の DVD を入れる。
4. 以下の5-7のコマンドを入力し、ブートセクタの書き換えを行います。

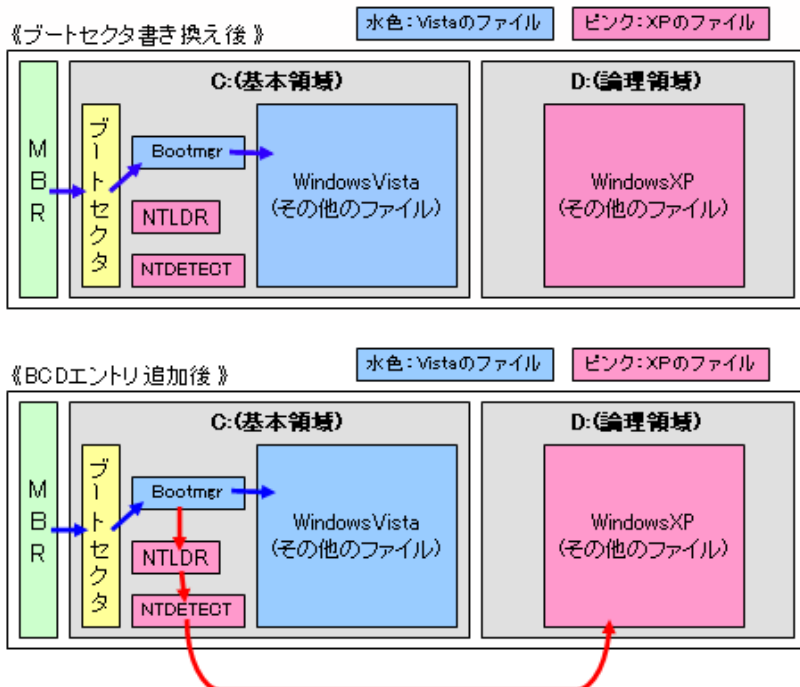
5. 光学ドライブに移動
`C:\Documents and Setting\[ユーザー名]>e:`
 ※e:はDVDドライブを指定して下さい。
 ※「\」は半角の¥で入力して下さい。

6. DVD内の\bootフォルダに移動
`E:\>cd \boot`
 ※cdがフォルダに移動するコマンドです。

7. ブートセクタ書き換えコマンドを実行
`E:\boot>bootsect /nt60 all`

※ ここまででVISTAの起動情報に置き換わります。このままだと今度はXPが起動しないので、以下の以下の8-12のコマンドを入力し、BCDIにXP起動の為のエントリを追加します。

8. ビスタのsystem32フォルダに移動
`E:\boot>cd c:\windows\system32`
9. `C:\WINDOWS\system32>bcdedit /create {ntldr} /d "Microsoft Windows XP"`
10. `C:\WINDOWS\system32>bcdedit /set {ntldr} device partition=C:`
11. `C:\WINDOWS\system32>bcdedit /set {ntldr} path \ntldr`
12. `C:\WINDOWS\system32>bcdedit /displayorder {ntldr} /addlast`



Windows Vistaの削除

マルチブートを解除し、Windows Vistaを削除する場合の作業手順は以下の通り。

1. XPのブートローダである「NTLDR」が起動されるようにブートセクタを書き換える。
2. Windows Vistaのファイルを削除する。

以下、詳細手順を記載します。

《XPのブートローダである「NTLDR」が起動されるようにブートセクタを書き換える》

1. XPを起動する.
2. アクセサリのコマンドプロンプトを起動する.
3. DVDドライブ(E:とします)にVISTA の DVD を入れる.
4. 以下の5-7のコマンドを入力し、ブートセクタの書き換えを行う.
5. 光学ドライブに移動
`[C]:\Documents and Setting\[ユーザー名]>e:`
※[C]:はXPの入っているドライブ, 場合によってはD:
※e:はDVDドライブを指定して下さい.
※「\」は半角の¥で入力して下さい.
6. DVD内の\bootフォルダに移動
`E:\>cd \boot`
※cdがフォルダに移動するコマンドです.
7. ブートセクタ書き換えコマンドを実行
`E:\boot>bootsect /nt52 all`

《Windows Vistaのファイルを削除する》

削除するWindows VistaがD:ドライブ等, c:ドライブ以外の場合は, 当該ドライブをフォーマットして初期化すればよいです.

削除するWindows VistaがC:ドライブの場合は, 手作業でファイルを削除する必要があります. XPの起動に必要な以下のファイルを残し, 他のファイルを削除します.

- ntldr
- NTDETECT.COM
- boot.ini
- bootfont.bin

実際には, あまり危ない橋を渡らず, 容量の多い「Documents and settings」「Program Files」「Windows」といったフォルダおよび「hiberfil.sys」「pagefile.sys」といったファイルを削除すれば十分でしょう.

WindowsXPの削除

マルチブートを解除し, WindowsXPを削除する場合の作業手順は以下の通り.

1. BCDからXP起動の為のエントリを削除する.
2. Windows XPのファイルを削除する.

以下、詳細手順を記載します。

《BCDからXP起動の為のエントリを削除する》

1. Vistaを起動する.
2. コマンドプロンプトを管理者として起動する(右クリックメニューから).
3. 以下の4のコマンドを入力する.
4. `[C:]\windows\system32>bcdedit /delete {ntldr}`

《Windows XPのファイルを削除する》

削除するWindows XPがD:ドライブ等, c:ドライブ以外の場合は, 当該ドライブをフォーマットして初期化すればよいです。

削除するWindows XPがC:ドライブの場合は, 手作業でファイルを削除する必要があります。Vistaの起動に必要な以下のファイルを残し, 他のファイルを削除します。

- bootフォルダ
- bootmgr

実際には, あまり危ない橋を渡らず, 容量の多い「Documents and settings」「Program Files」「Windows」といったフォルダおよび「pagefile.sys」といったファイルを削除すれば十分でしょう。

マルチブートの問題点

WindowsXPとWindows Vistaのマルチブートで重大な問題点があることが判明しています。それは「WindowsXPを起動するとWindows Vistaの復元ポイントが削除されてしまう」というものです。

これは, XPで使用しているボリュームシャドウコピーサービス用のストレージフィルタドライバである「volsnap.sys(=ボリュームのスナップショットをとる機能を実装)」の仕様上の問題点に起因するものであるとのことですが, Microsoftでは仕様変更する予定はないとのこと。

volsnap.sysに依存するアプリケーション(パーティションバックアップソフト類)を使用しないということであれば, 以下の手順でvolsnap.sysを無効化すればこの問題を回避することはできるとのこと。

1. XPを起動する。
2. 「ファイル名を指定して実行」からレジストリエディタを起動(regeditと入力)する。
3. HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Class\{71A27CDD-812A-11D0-BEC7-08002BE2092F}を開き, 「UpperFilters」キーを削除

名前	種類	データ
ab] (既定)	REG_SZ	記憶域ボリューム
ab] Class	REG_SZ	Volume
ab] EnumPropPages32	REG_SZ	StorProp.Dll,Vo
ab] Icon	REG_SZ	-53
ab] Installer32	REG_SZ	syssetup.dll,Vo
ab] NoInstallClass	REG_SZ	1
ab] SilentInstall	REG_SZ	1
ab] UpperFilters	REG_MULTI_SZ	VolSnap

完全無料

Windows 7

無償でプレゼント!

期間限定 **11/28** まで
先着500名限定!

話題のWindows7を
無償で提供します!

詳しくは
こちら!

getbb.net/win7

Ads by Google

[Page Top](#)



[イントロ](#) [Windows Vista Information](#) [おすぎのほむぺ〜じ](#)

[リフォーム 部屋](#) [車 査定](#) [アクセス解析](#) [SEO対策](#) [ダイエット](#)